

# 令和4年度事業報告

## I 事業の状況

### 1、華道に関する研究及び調査

華道に関する研究及び調査等については、令和4年度は以下のような事業を実施。

#### (1) 植物研修会

令和4年9月27日（火）に実施。長野県、白駒の池方面にて植物観察の後、ぶどう狩りを行った。参加者25名。

#### (2) 研究部会

華道の技術と知識の向上を目的に研究部会を以下のように開催している。

令和5年3月26日（日）～28日（火）

華道院研究部作品発表会 29名参加

会場 有楽町東京交通会館 B1 ゴールドサロン

テーマ「枝物をいける」

令和4年4月24日（日） 会場 古流会館3階

講師 武藤理春先生 「アリアムをいける」 30名参加

令和4年5月29日（日） 野外研修会

会場 小石川後楽園 21名参加

令和4年6月26日（日） 会場 古流会館3階

講師 田中一秀先生 「モンステラをいける」 26名参加

令和4年7月24日（日） 会場 古流会館3階

講師 小泉恵華先生 「連翹をいける」 23名参加

令和4年8月28日（日） 会場 古流会館3階

講師 武藤理春先生 「爽をいける」 25名参加

令和4年10月28日（日） 会場 古流会館3階

講師 武藤理春先生 「はらんをいける」 19名参加

令和5年2月5日（日） 新年懇親会

会場 丸八鮎 12名参加

令和5年2月26日（日） 会場 古流会館3階

講師 田中一秀先生 「スイートピーをいける」 27名参加

### 2、華道に関する展覧会、講習会及び講演会の開催

華道に関する展覧会、講習会及び講演会の開催については令和4年度は以下のような事業を実施した。

## (1) 華道に関する展覧会

### ① 令和4年11月20日（日）～23日（水）

「いけばな大賞2022」を北千住シアター1010ギャラリーに於いて開催

「第95回全日本いけばなコンクール(東京会場)」前期に格花の部、自由花の部、指定花材の部、特別審査の部、小品花の部を開催。また後期にフリースペースの部とくらしを彩るいけばなの部を開催。入場無料。

参加者は前期の格花の部17名、自由花の部14名、指定花材の部27名、特別審査の部9名、小品花の部4名、合計71名。

入賞者は、いけばな大賞2022・内閣総理大臣賞は自由花の部・西尾覚誉(草真流)が受賞。文部科学大臣賞 格花は格花の部・浜田草圓(花古流)、自由花は自由花の部・久保島一裕(草月流)がそれぞれ受賞した。農林水産省農産局長賞 格花には格花の部・大塚理航(古流かたばみ会)、自由花は特別審査の部・氷室覚詣(草真流)がそれぞれ受賞した。また東京都知事賞は指定花材の部・増田彩雲(池坊宝生流)が受賞した。

後期開催のフリースペースの部参加者は75名、くらしを彩るいけばなの部は10名。入場者は延べ1949名であった。

初日、午前10時45分より、東京都議会議員・高島直樹様代理・高島弘子様、足立区長代理・足立区生涯学習支援室長・多ヶ谷正様、公益財団法人日本いけばな芸術協会理事長・矢上哲己様、いけばなインターナショナル会長・坂田展子様、シアターセンジュ館長・佐々木太一郎様をお迎えして開会式、テープカットが行われた。

また「いけばな大賞2022学生部門」が同会場10階アトリエにおいて開催。参加者は小学生低学年の部3名、小学生高学年の部8名、中学生の部23名、高校生の部23名の計57名が参加。入場者数は593名。

いけばな大賞・東京都教育委員会賞は高校生の部・河合咲瑛が受賞した。

出品者説明会は10月8日(土)に北千住シアター1010アトリエにおいて開催された。

また入賞者表彰式は令和5年1月14日(土)に箱崎ロイヤルパークホテルにおいて開催された。(後述)

### ② 令和4年9月23日（金）～26日（月）

「いけばな大賞2022(九州会場)」を福岡市櫛田神社 恵比須会館において開催

「第95回全日本いけばなコンクール(九州会場)」前期は審査展、後期は普通展として開催された。入場無料。

参加流派12流派。自由花の部9名、格花の部11名、指定花材の部13名、チャレンジスペースの部2名、フリースペースの部76名。合計111名。

入賞者は華道大賞には自由花・内田覚召(草真流)、文部科学大臣賞には同じく自由花・

内田覚召（草真流）と格花・西尾覚誉（草真流）がそれぞれ受賞した。  
表彰式は9月25日（日）、アクロス福岡セミナー室において開催された。

### ③千鳥ヶ淵墓苑への献花

一年を通して千鳥ヶ淵戦没者墓苑内においていけばなの展示（献花）が行なわれた。

## (2) 華道に関する講演会

当院では華道に関する講演会として、教養、見識を深めるための講演会を開催している。  
令和4年8月30日（火）「和の文化 いけばなを知る・楽しむ」と題した夏期教養講座を北とぴあ つつじホールにおいて開催した。

午後1時に田中一秀理事長の挨拶で始まり、1時10分より渋沢史料館館長・桑原功一先生による講演「渋沢栄一翁の生涯」、1時50分よりスライド上映・帝国華道院研究部の紹介、2時30分より一葉式いけばな家元・粕谷尚弘先生による実演「いけばなポリリズム」が行われた。

受講料1,500円 入場者282名。

## 3、機関紙及び華道に関する出版物の刊行

機関紙及び華道に関する出版物の刊行については令和4年度は以下のような書籍及び雑誌を出版した。

### (1) 会報「帝国華道院会報」

会報86号を発行

## 4、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

令和4年度は、目的を達成するために必要な事業として、以下の事業を実施。

### (1) いけばな大賞2022表彰式・新年懇親会

令和5年1月14日（土）箱崎ロイヤルパークホテル ロイヤルホールにて

第1部「いけばな大賞2022表彰式」

第2部「令和5年新年懇親会」が開催された。参加者は109名

第1部 司会 蟹江一艸理事・今井草苑理事

開会の挨拶 武藤理春 実行副委員長

実行委員長挨拶 田中一秀 実行委員長

来賓紹介

審査講評 千羽理芳審査員

表彰

謝辞 西尾覚誉

第2部 司会 小泉恵華理事・井上冷美理事

開会の挨拶 柴崎秀應顧問

来賓祝辞 東京都議会議員 高島直樹様

足立区長代理 足立区生涯学習支援室長 多ヶ谷正様

一般社団法人いけばなインターナショナル会長  
坂田展子様

いけばな作家 谷口雅邦様

株式会社大田花き代表取締役社長 磯村信夫様

乾杯  
祝宴  
福引

閉会の挨拶・手締め

後藤覚徹理事

## (2) 協力事業

### ① 東京都主催・ものづくり・匠の技の祭典2022

令和4年8月5日(金)～7日(日)東京国際フォーラムにおいて開催された「ものづくり・匠の技の祭典2022」に帝国華道院が協力。

7日にはステージにて武藤理春副理事長のいけばなライブパフォーマンスが行われ、生中継でインターネットによる配信も行われた。また同日、茶室にて2回にわたりいけばな体験教室が実施され、今井草苑理事、山田理映理事が担当した。

### ② (公財) 東京観光財団 コネクションズ東京

令和4年11月13日(日)椿山荘において開催された、富裕層海外旅行エージェント向けのイベントにて粕谷尚弘理事がパフォーマンスで参加し、日本文化の魅力を発信。海外からの参加者も熱心にご覧になり、好評を博した。

### ③ (公財) 東京観光財団 ユニークベニューショーケースイベント

令和5年2月22日(水)都内の歴史的建造物等で会議やレセプションを開催することで地域特性等を演出できる会場の魅力を発信するためのイベントにて、武藤理春副理事長がパフォーマンスを披露。節句に合わせたパフォーマンスでいけばなの魅力を発信した。